

海況速報

平成4年度 第5号(通算 No.29)
平成4年12月14日
北海道立水産試験場

11月下旬～12月上旬の海況

【日本海海域】

表面水温は宗谷海峡西口の6～9℃台から津軽海峡西口の15℃台の範囲にあり、全体的に9～11℃の区域が広がっています。これは昨年とほぼ同程度の値です。また、北上した対馬暖流と南下した冷水は積丹半島付近でフロントを形成しており、とくに0～100m層で顕著です。この結果、積丹半島付近での暖水塊はみられません。半島西側の50～100m層には10℃以上の暖かい水温が残っています。

余市における沿岸水温(旬平均)は7月下旬以降継続して平年値を1～2℃下まわっていましたが、11月下旬からはほぼ平年並で推移しています。

【オホーツク海域】

表面水温は宗谷海峡付近で8℃台、その他の海域ではほとんどが3℃台で、すでにかかなりの降温がみられています。また、50～100m層には沿岸域に宗谷暖流が認められ、その先端は湧別付近まで達しています。昨年と比較すると、表面から50m層の水温は昨年とほぼ同程度、100m層ではやや低くなっています。

【道東太平洋海域】

表面水温は沿岸域で6～7℃台、沖合域で7～14℃台を示しており、昨年と比較すると沿岸では同程度、沖合では暖水域で2～3℃高くなっています。今回の観測ではいずれの深度でも沖合の暖流域、親潮系水および沿岸の暖水域(道東沿岸流)が明瞭な潮境を形成していたことが特徴的でした。

【道南太平洋海域】

表面水温は北部では8℃台、南部では9～13℃台を示しており、北部では昨年より2～3℃ほど低めでした。また、50m以深でも南部では昨年並、北部では昨年と比べて3～4℃以上低い水温分布がみられました。

資 料 [観測期間]

稚内水試 (北洋丸)	平成4年11月30日～同12月1日 (道北日本海海域)
稚内・網走水試 (北洋丸)	平成4年12月7日～同12月9日 (オホーツク海域)
釧路水試 (北辰丸)	平成4年11月30日～同12月5日 (道東太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	平成4年11月30日～同12月1日 (道南太平洋海域)
中央水試 (おやしお丸)	平成4年11月30日～同12月3日 (道央～道南日本海海域)

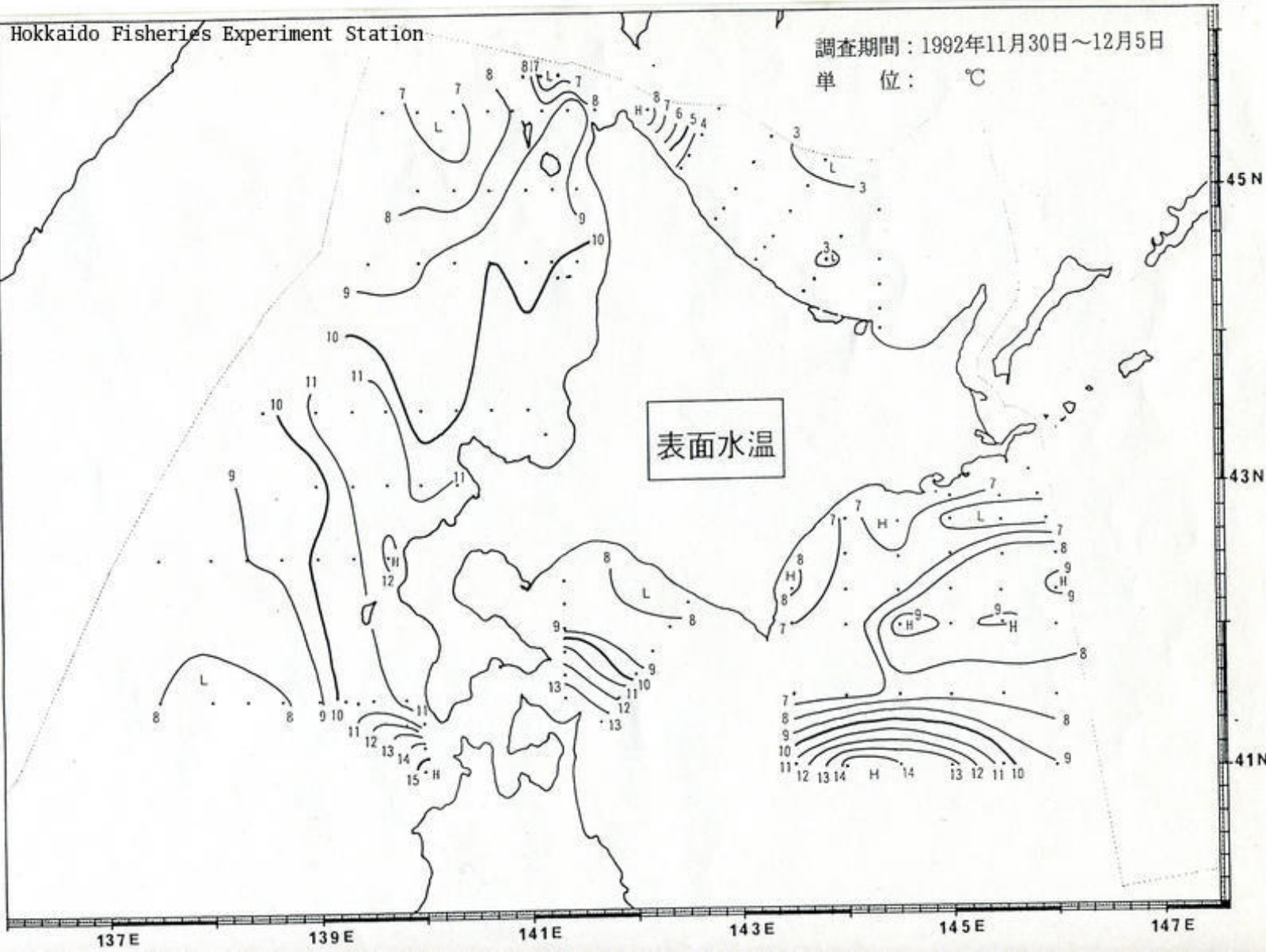
(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年11月30日～12月5日

単位：℃

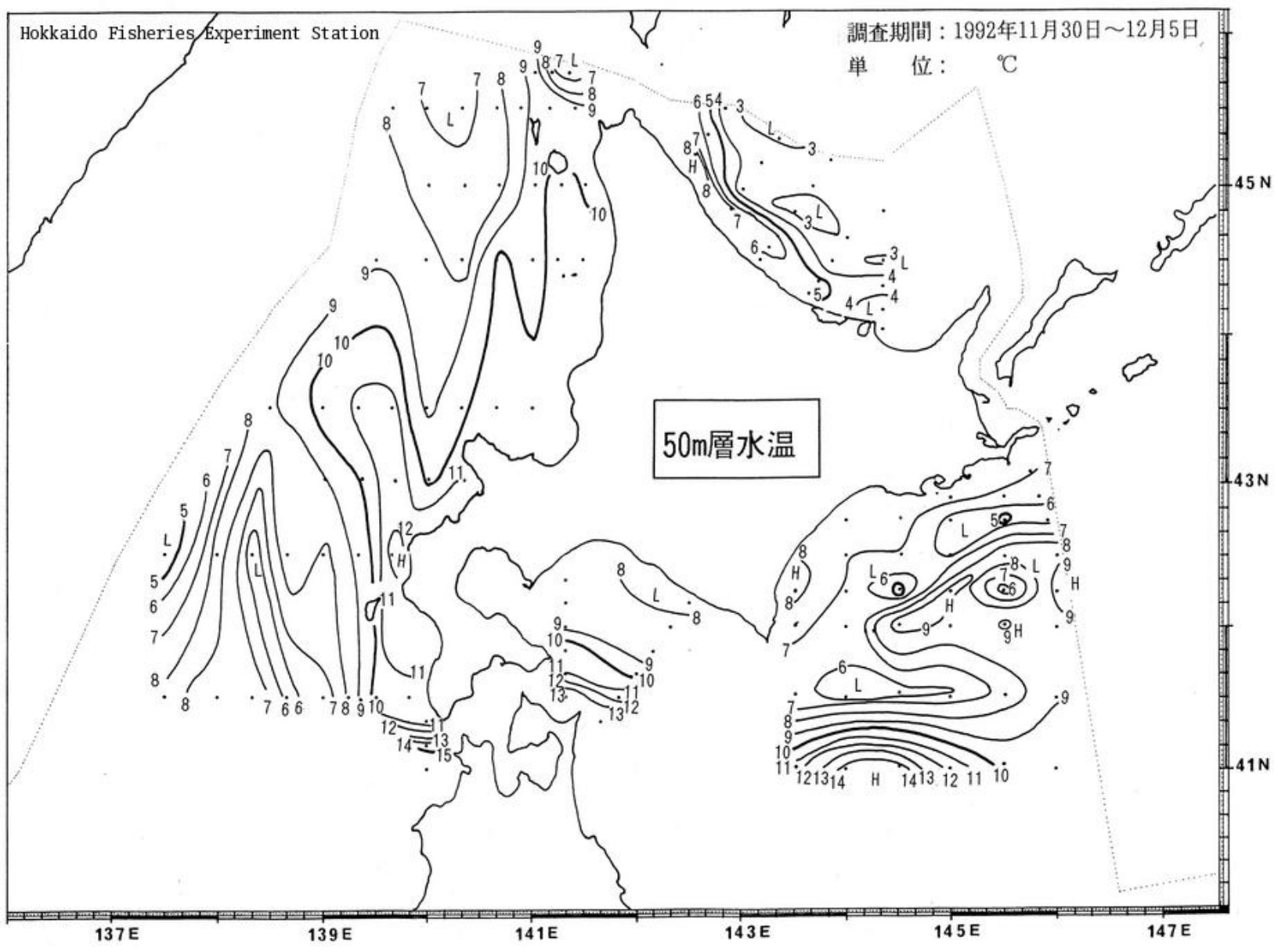
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年11月30日～12月5日
単位：℃

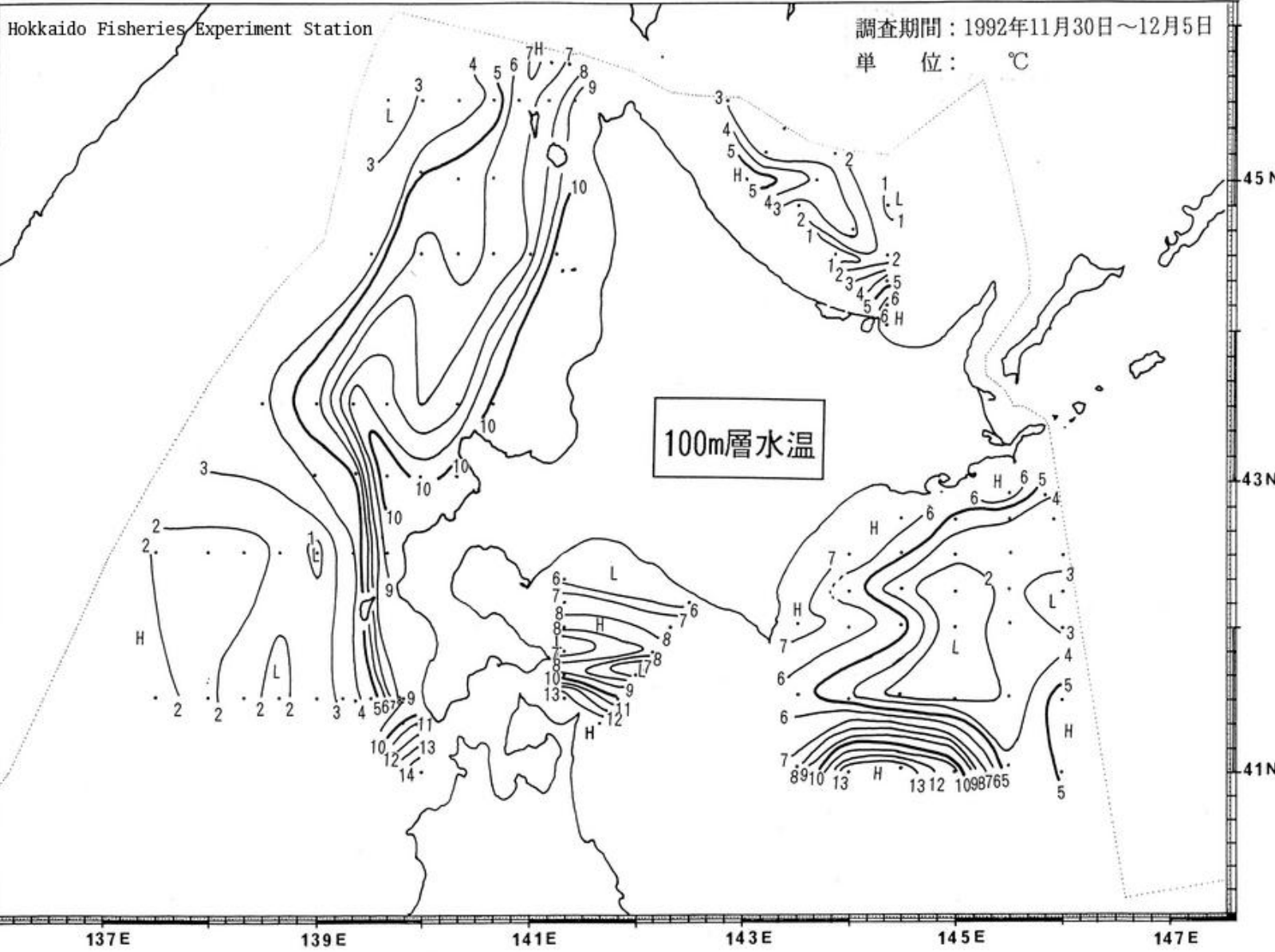
50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年11月30日～12月5日
単位：℃

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年11月30日～12月5日
単位：℃

200m層水温

